

# 平成30年度 事業報告

## 1 総括

当財団では、県民の総合的な健康づくりを推進するため、果たすべき役割をしっかりと認識し、引き続き各種健診・検査事業、普及啓発事業、県からの受託事業等を実施するとともに、着実な事業運営に努めてきた。

平成30年度の業務の概況であるが、財団の主要事業である健診・検査事業では、県内全域をカバーした健康診断・検査を実施し、生活習慣病等の疾病予防と早期発見、受診率向上を目指し、県民の保健・医療・福祉の向上に努めた。

このうち、健診事業においては、第3期特定健診・特定保健指導が開始となり、特定健診詳細項目の実施方法等が改正されたことから、その対応に万全を期した。また、健診精度の向上を図るために順次推進してきたエックス線撮影機器のデジタル化については、マンモグラフィ装置のデジタル化を推進した。

一方、医療事故やヒヤリハットを体系的に管理し、事故発生の防止や健診・検査の質の向上を目指す取組を進めていたが、一部市町村住民健診の結果通知票のコメント欄を誤記するという事故を発生させてしまったことから、リスクマネジメントを見直し、ヒヤリハットの周知徹底とチェック体制の強化を図ったほか、物理的にミスを防ぐため巡回健診のIT化推進に着手した。

普及啓発事業では、リレー・フォー・ライフ・ジャパン2018ぐんまを開催し、過去最高となる8,300名の参加者を集め国内最大規模の大会とすることができた。

このほか、「第3期特定健診・特定保健指導の開始」や「改正労働契約法、働き方改革の動き」等に対応するため、組織改正や雇用体系の整備を行い、将来を見据え体制基盤の充実強化を図った。

## 2 重点実施事項

### (1) 体制整備

#### ① 総合的なリスクマネジメント体系の整備

財団が行う医療や、各種健診・検査の現場における医療安全管理の体制の確保及び推進を図るため、リスクマネジメント体系を所管する医療安全管理室を設置した。また、ヒヤリハット事例の周知徹底に関して取組方針を定め、職員の情報共有に取り組んだ。

② 業務の効率化及び体制強化

事業・業務を見直し、効率化を図るため、事業企画課を新設し、健診・検査業務の現状把握・分析を行い、健診会場での健診データ集約から結果処理までのIT化計画に着手した。また、第3期特定健診の開始等、健診・検査を巡る環境の変化に対応するため、健診管理課を新設した。

③ 雇用体系の整備

多様な働き方のニーズに応じられるよう、非正規雇用の体系を見直し、従来の「嘱託職員」、「臨時職員」の区分を廃止し、新たに「スタッフ職員」、「シニア職員」、「アシスタント職員」及び「パートナー職員」を設け、役割や責任に則した雇用体系を整備した。

④ エックス線装置の完全デジタル化

健診精度の向上と効率化を図るため、マンモグラフィのデジタル化を進め、常時稼働するレントゲン装置の完全デジタル化を推進した。

⑤ 職員の資質向上

全職員を対象とした財団内部の研修を実施するとともに、外部団体主催の研修会に職員を積極的に参加させ、職員の知識・技術の向上に努めた。

内部研修 新規採用研修、医療安全研修、ヒヤリハット研修、メンタルヘルス研修、ハラスメント研修等を開催

外部研修 本部三団体（公財）結核予防会・（公財）日本対がん協会・（公財）予防医学事業中央会）その他団体が主催する各種専門分野 96 の研修会に職員（延べ 180 名）を派遣

⑥ 個人情報保護

健診機関としての社会的責任を認識し、個人情報保護に努めるため、平成29年7月に更新したプライバシーマーク（個人情報保護マネジメントシステム：有効期間2年間）の認定機関として、個人情報の取扱・管理の徹底を継続実施し、個人情報保護に万全を期した。

(2) 健診検査事業

県の方針に基づき、市町村と連携して財団の基盤である各種健(検)診を着実に実施し、受診率向上を目指した。

① 循環器健診

昨年度と同様、職域健診受診者数が地域健診受診者数を上回った。制度改正により、特定健診詳細項目の心電図検査が 12,221 件(前年度比+5,565 件)、眼底検査が 8,674 件(前年度比+5,258 件)と大幅に増加した。

## ② がん検診

「がん健診のための実施指針」の改正、個別健診化の流れ等の影響から地域におけるがん検診の受診者数が減少した。

胃がん検診は、内視鏡併用の影響などから受診者数が 10.3% 減少した。

乳がん検診は、視触診を廃止した市町村が 5 市町村増加したことから視触診が 36.8% の大幅な減少となった。

なお、乳房超音波検査は、引き続き大泉町からモデル的に受託し 1,497 名に対して実施した。

肺がん検診、子宮頸がん検診、大腸がん検診、前立腺がん検診については、微減となっている。

## ③ 保健指導

制度改正により特定健診と同時に実施する初回分割型特定保健指導を 2 市から受託し、対前年度 386 人増の 1,340 人の保健指導を実施した。

## ④ 腸内細菌検査

集団給食施設等の食中毒対策として改正された「大量調理施設衛生管理マニュアル」に対応するため、ノロウイルス検査について遺伝子検査法（PCR 法）を導入し、1,201 件の検査を実施した。検査を全て外部委託していた前年度と比べ、受注数が 579 件増加した。

## ⑤ 市町村との連携強化

地域健診の受診率向上を目指し、市町村との連携強化を図る観点から、平成 31 年 2 月に「群馬県健康づくり財団健康セミナー」を開催。外部講師による健康づくり講演と併せて、財団の平成 31 年度事業説明を行った。18 市町村と 1 団体から 37 名の参加があった。

## (3) 普及啓発事業

### ① リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2018 ぐんま

平成 30 年 10 月 6 日、7 日の両日にわたって、がん患者やその家族を支援し、地域全体でがんと向き合い、がん征圧を目指すチャリティーイベントである「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2018 ぐんま」を開催した。前回に比べ 500 名増の 8,300 名が参加し、がん患者等への支援と、がんに対する意識を高めることができた。平成 25 年に群馬県で初めて開催してから、参加人数は年々増加し、国内最大規模の大会へと成長した。

② がん征圧啓発

ア) 平成30年5月、(公財)日本対がん協会垣添会長が、全国がんセンター協議会加盟32施設を徒歩で訪問した「がんサバイバー支援ウォーク」において、本県を通過する3日間、財団職員が同行し、垣添会長とともにがん検診受診・がん患者支援を県内各地で訴えた。

イ) 平成30年8月・9月、ポートルース桐生において、(公財)日本対がん協会と連携して、ブース展示等の「ピンクリボンキャンペーン」を2回行った。

ウ) 平成31年2月に「がん患者ミーティング」を開催。(公財)日本対がん協会垣添会長が「がんサバイバー支援ウォーク」を振り返る講演を行い、がん患者と医療関係者の情報交流を図った。

③ 地域保健研究発表会

平成31年3月、県内地域保健関係者の研究発表の場として、「群馬県地域保健研究発表会(第6回)」を開催した。関係者126名が参加し、16名の発表者が日頃の研究成果を発表した。

④ あさを賞

平成30年12月、県民の健康増進、疾病予防等に役立つ調査研究8事業に対し、健康づくり研究助成「あさを賞」助成金の交付を決定した。

(4) 群馬県からの受託事業等

全国がん登録事業、不妊専門相談センター事業、臓器移植推進事業及び群馬県がんピアサポーター派遣事業を受託し実施した。

(5) 本部支部団体関連会議

当財団と同様に(公財)結核予防会、(公財)日本対がん協会、(公財)予防医学事業中央会に加入している福島県・茨城県・栃木県の団体との四県会議(情報交換会)を、当番県として、平成30年7月に草津町で開催した。

### 3 主な出来事

月 日	主 な 出 来 事
5月13日	乳がん患者会と連携して「乳がん検診受診促進 母の日キャンペーン」を開催(けやきウォーク前橋)
6月13日	理事会(理事9名・監事2名出席)
6月27日	評議員会(評議員12名出席)
7月5日・6日	四県会議(福島、茨城、栃木支部)開催(草津町「ホテル一井」)
8月1日	群馬県健康福祉部長表敬訪問(複十字シール募金運動協力依頼)
8月4日・9月30日	がん征圧ピンクリボンキャンペーン(ボートレース桐生)
10月6日・7日	「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2018ぐんま」を開催
11月3日	ぐんまマラソンに協賛、ブースを出展(正田醤油スタジアム群馬)
11月30日	行政庁(県学事法制課)の公益法人定例立入検査
12月10日	健康づくり研究助成「あさを賞」選考委員会(8件の助成を決定)
2月3日	「群馬県がん患者ミーティング2019」を開催
2月20日	「群馬県健康づくり財団健康セミナー」を開催
3月6日	理事会(理事11名・監事2名出席)
3月20日	「群馬県地域保健研究発表会」を開催(群馬県庁)
3月26日	評議員会(評議員13名出席)

### 4 事業基盤の確立

#### (1) 賛助会員

区 分	会費(1口)	会員数(件)	金額(円)
法人会員	10,000	56	560,000
団体会員	5,000	44	220,000
個人会員	1,000	24	24,000
合 計		124	804,000

## 5 事業実績

### (1) 普及啓発事業

項 目		活 動 内 容
週 間 月 間 行 事	がん征圧月間 (9月)	年間を通じ、リレー・フォー・ライフ・ジャパン2018ぐんまイベント等において、群馬県がん患者団体連絡協議会と連携して啓発キャンペーンを実施した。 がん征圧月間では、ピンクリボンキャンペーンを実施したほか、新聞広告掲載や関係機関へポスター配布(1,520部)等を行った。
	結核予防週間 (9/24～30)	「男女共同参画フェスティバル(群馬県女性団体連絡協議会主催)」にて群馬県地域婦人団体連合会(全国結核予防婦人団体連絡協議会群馬県支部)と連携して啓発キャンペーンを実施した。結核予防週間では、新聞広告掲載や関係機関へポスターや配布等を行った。(ポスター 700部、パンフレット 1,500部)
	臓器移植普及 推進月間(10月)	県内ショッピングモール等で群馬県腎臓病患者連絡協議会と連携して啓発キャンペーンを実施した。啓発品を配布して、意思表示の促進を図った。(群馬県からの委託事業)
行 事 開 催	リレー・フォー・ ライフ・ジャパン 2018ぐんま	リレー・フォー・ライフ・ジャパンぐんま実行委員会事務局として、平成30年10月6～7日にALSOKぐんま総合スポーツセンターで第6回大会を開催した。
	群馬県地域保健 研究発表会	県内の地域保健関係者が、日常業務を通じた調査研究活動から得られた成果を発表する群馬県地域保健研究発表会を平成31年3月に開催した。
	群馬県がん患者 ミーティング2019	群馬県がん患者団体連絡協議会事務局として、がん患者が中心となってがん患者、家族、支援者、医療従事者が共に集い、がんに強い群馬を目指し、勇気や元気を分かち合うための催しを平成31年2月に開催した。
行 事 協 賛	ぐんまマラソン (第28回)	ぐんまマラソンに協賛して、健康チェックブースを出展し、参加者に健康意識の啓発を図った。
複十字シール運動		結核や肺がん・COPDを含む胸部に関する疾患をなくして、健康で明るい社会を作るため、これらの病気に関する知識の啓発と予防意識の高揚を図るとともに、事業資金を集めるために行われる募金活動を実施した。(結核予防会主催の全国運動)(募金額 3,026,420円)
健 康 教 育 資 料 提 供	機関誌発行	機関誌「健やかぐんま(No.20～No.23)」を発行した。 (8ページ構成、8,500部、年4回)
	機関誌等の配布	各種関連団体が発行する機関誌(予防医学ジャーナル(378部)・複十字(1,740部)・対がん協会報(3,760部)・健康の輪(360部))を関係機関に配布し、健康関連情報を提供した。
	教育資材の貸出	市町村等関係団体に対し、血管年齢測定器(17団体)、血管年齢・ストレス測定器(10団体)、脳年齢測定器(12団体)、活力年齢測定器(5団体)、乳がん教育用パネル・触診モデル(4団体)、骨粗鬆症モデル(2団体)を貸し出した。

## (2) 健診検査事業

## ① 胸部検診

(単位:人)

区 分	対 象	30 年 度 実 績	29 年 度 実 績	前年比(%)
胸部(結核)検診	地 域	723	895	80.8
	職 域	37,534	37,680	99.6
	学 校	25,918	26,725	97.0
	合 計	64,175	65,300	98.3
肺がん検診	地 域	101,422	104,889	96.7
	読影受託のみ	11,757	13,179	89.2
	職 域	2,152	2,272	94.7
	合 計	115,331	120,340	95.8
アスベスト検診		634	644	98.4
じん肺検診		199	203	98.0

## ② 循環器健診

(単位:人)

区 分	対 象	30 年 度 実 績	29 年 度 実 績	前年比(%)
循環器健診	地 域	39,274	39,890	98.5
	職 域	41,418	41,221	100.5
	合 計	80,692	81,111	99.5
A B C 検査	地 域	2,413	2,680	90.0
【特定健診件数内数】 特定健診 詳細項目	心電図検査	12,221	6,656	183.6
	眼底検査	8,674	3,416	253.9

## ③ 胃がん検診

(単位:人)

区 分	対 象	30 年 度 実 績	29 年 度 実 績	前年比(%)
胃がん検診	地 域	24,822	27,679	89.7
	職 域	6,300	6,634	95.0
	合 計	31,122	34,313	90.7

## ④ 子宮頸がん検診

(単位:人)

区 分	対 象	30 年 度 実 績	29 年 度 実 績	前年比(%)
子宮頸がん検診	地 域	27,733	28,845	96.1
	職 域	1,177	1,171	100.5
	合 計	28,910	30,016	96.3

## ⑤ 乳がん検診・(甲状腺)検診

(単位:人)

区 分	対 象	30 年 度 実 績	29 年 度 実 績	前年比(%)
視触診検診	地 域	8,607	13,608	63.2
	職 域	661	615	107.5
	合 計	9,268	14,223	65.2
マンモグラフィ検査	地 域	23,700	25,103	94.4
	職 域	1,481	1,402	105.6
	合 計	25,181	26,505	95.0
乳房超音波検査		1,497	1,573	95.2
合 計		35,946	42,301	85.0

⑥ 大腸がん検診

(単位:人)

区 分	対 象	30 年 度 実 績	29 年 度 実 績	前年比(%)
大腸がん検診	地 域	26,678	27,449	97.2
	職 域	3,759	3,791	99.2
	合 計	30,437	31,240	97.4

⑦ 前立腺がん検診

(単位:人)

区 分	対 象	30 年 度 実 績	29 年 度 実 績	前年比(%)
前立腺がん検診	地 域	15,863	16,419	96.6
	職 域	553	531	104.1
	合 計	16,416	16,950	96.8

⑧ その他健診

・保健指導(初回面接分割型を除く)

(単位:人)

区 分	対 象	30 年 度 実 績	29 年 度 実 績	前年比(%)
特定保健指導	積極的支援	228	186	122.6
	動機付け支援	308	302	102.0
一 般 保 健 指 導		482	466	103.4
合 計		1,018	954	106.7

・初回面接分割型保健指導

(単位:人)

区 分		30 年 度 実 績	29 年 度 実 績	前年比(%)
特定保健指導 初回実施数		322		
階 層 化 後	積極的支援	54		
	動機付け支援	175		
	情 報 提 供	62		
	医 療 優 先	31		

・健康サポート事業

(単位:件)

区 分	30 年 度 実 績	29 年 度 実 績	前年比(%)
健 康 サ ポ ー ト 事 業	9	5	180.0

・骨密度検診

(単位:人)

区 分	対 象	30 年 度 実 績	29 年 度 実 績	前年比(%)
骨密度検診	地 域	2,976	3,145	94.6
	職 域	352	344	102.3
	合 計	3,328	3,489	95.4

・歯周疾患検診

(単位:人)

区 分	対 象	30 年 度 実 績	29 年 度 実 績	前年比(%)
歯周疾患検診	地 域	51	107	47.7
歯科検診	職 域	708	861	82.2
唾 液 検 査	地 域	257	384	66.9
	職 域	311	254	122.4
合 計		1,327	1,606	82.6



・心身の健康づくり事業

(単位:人)

区 分		30 年 度 実 績	29 年 度 実 績	前年比(%)
心身の健康 づくり事業	個別カウンセリング	5	12	41.7
	ストレスチェック	13,366	12,809	104.3
	合 計	13,371	12,821	104.3

⑨ 腸内細菌検査事業

(単位:件)

区 分	30 年 度 実 績	29 年 度 実 績	前年比(%)
腸 内 細 菌 検 査	80,962	82,314	98.4

⑩ 病理検査事業

(単位:件)

区 分	内 容	30 年 度 実 績	29 年 度 実 績	前年比(%)
病 理 検 査	細胞診検査	42,288	45,540	92.9
	組織診検査	7,865	7,999	98.3
	喀痰細胞診検査	4,602	5,807	79.2
	合 計	54,755	59,346	92.3

⑪ 学校保健検査

(単位:件)

区 分	内 容	30 年 度 実 績	29 年 度 実 績	前年比(%)
学 校 保 健 検 査	寄生虫検査	1,043	1,316	79.3
	尿 検 査	118,663	120,901	98.1
	血 液 検 査	1,412	1,413	99.9
	貧 血 検 査	28,587	31,029	92.1
	心 臓 検 診	58,376	60,239	96.9
	小児生活習慣病健診	3,834	4,020	95.4
	合 計	211,915	218,918	96.8

⑫ 先天性代謝異常検査

(単位:件)

区 分	30 年 度 実 績	29 年 度 実 績	前年比(%)
先 天 性 代 謝 異 常 検 査	15,883	16,196	98.1

⑬ 食品検査

(単位:件)

区 分	30 年 度 実 績	29 年 度 実 績	前年比(%)
食 品 検 査	16,945	17,977	94.3

⑭ 水質検査

(単位:件)

区 分	30 年 度 実 績	29 年 度 実 績	前年比(%)
水 質 検 査	19,414	19,205	101.1

⑮ 診療所健診

(単位:人)

区 分	内 容	30 年 度 実 績	29 年 度 実 績	前年比(%)
精 密 検 査	胃 が ん	75	94	79.8
	大 腸 が ん	34	41	82.9
	乳がん・(甲状腺)	322	294	109.5
	そ の 他	938	1,143	82.1
	合 計	1,369	1,572	87.1
施 設 内 健 診	日帰り人間ドック	1,830	1,885	97.1
	その他健康診断	14,128	14,144	99.9
	合 計	15,958	16,029	99.6

・ がん登録状況(暦年)

(単位:件)

区分	登録の状況	届出の状況	
	罹患者数	届出票の届出数	病医院及び診療所数
平成6年	6,303	2,648	92
平成10年	6,513	5,101	79
平成15年	6,078	3,406	61
平成20年	12,111	7,738	74
平成25年	14,407	19,213	99
平成26年	14,727	19,797	97
平成27年	15,092	20,982	93
平成28年	16,255	13,251	80
平成29年		26,559	95
平成30年		23,138	110
累計(平成6年～30年)	208,704	269,586	1,977

注:「登録の状況」平成25年以降の件数については、地域がん登録から全国がん登録に移行したため、国(国立がんセンター)により集計されています。

注:平成6年から実施。平成7年～9年、平成11年～平成14年、平成16年～平成19年、平成21年～24年は記載省略。

・ 不妊専門相談

(単位:件)

年度	相談件数
平成11年	69
平成15年	97
平成20年	162
平成25年	144
平成26年	124
平成27年	144
平成28年	106
平成29年	137
平成30年	153
累計(平成11年～30年)	2,354

注 平成11年から実施。平成12年～14年、平成16年～19年、平成21年～24年は記載省略。

・ がんピアサポーター派遣状況

年度	派遣先(医療機関)数	延べ派遣人数(人)
平成25年(※)	3医療機関	90
平成26年	6医療機関	224
平成27年	8医療機関	261
平成28年	9医療機関	283
平成29年	10医療機関	314
平成30年	11医療機関	333
累計	47医療機関	1,505

※受託期間は半年

注:平成25年から実施。